

公益財団法人 日本ソフトボール協会機関誌

ソフトボール

2025年/令和7年
第482号

4月号
(毎月1回10日発行)

編集兼発行者 公益財団法人 日本ソフトボール協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square

T E L . 03-5843-0480 F A X . 03-5843-0485

編集部 ㈱日本体育社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13-501

T E L . 03-3811-6911 F A X . 03-3811-6290



令和6年度第2回定時評議員会 (2025. 2. 23/東京・品川プリンスホテル)

C o n t e n t s

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・男子TOP日本代表レポート
ワールドカップファイナル「組み合わせ」決定!2 ・女子U18日本代表レポート
ワールドカップファイナル「組み合わせ」決定!4 ・JD.LEAGUE・日本女子リーグ担当審判員研修会6 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第10回理事会議事録8 ・令和6年度第2回定時評議員会議事録11 ・「新意匠ゴムソフトボール」記者発表18 ・2025シーズン大会日程等20 ・事務局だより22 |
|---|--|

公益財団法人 日本ソフトボール協会オフィシャルホームページ
www.softball.or.jp

男子TOP日本代表レポート

ワールドカップ ファイナル 「組み合わせ・スケジュール」決定！

今年7月（大会期日…7月8日～14日）、カナダ・プリンスアルバートで開催される「第18回男子ワールドカップファイナル」の組み合わせ・スケジュールが決定し、このほど正式発表された。

「最終決戦」の舞台となる今大会には、A・B・Cの各グループステージを勝ち抜いた6チーム（グループA突破2チーム…ドミニカ共和国①、オーストラリア②、グループB突破2チーム…アルゼンチン①、ニュージーランド⑧、グループC突破2チーム…アメリカ⑥、日本③）にワイルドカード2チーム（カナダ④、ベネズエラ⑤）を加えた合計8チームが出場。男子TOPカテゴリー「世界一の座」をかけた「まさにハイレベル」な激闘が繰り広げられることとなる。※○数字は世界ランキング

男子TOP日本代表は一昨年（2023年）日本・高知県で開催された「アジアカップ」を全勝で制し（※2023アジアカップには「次世代の強化」を目的とし、同年のU23ワールドカップで準優勝の好成績を取めた男子U23日本代表チームが出場。TOPカテゴリーに挑んだ）、昨年（2024年）9月、「第18回男子ワールドカップグループステージ」（グループC）に出場。前回3位の「強豪」ホスト国・アメリカ

かに5-9、0-10（4回コールド）と「力負け」を喫したものの…第2代表決定戦でグアテマラに3-0の完封勝利。第1代表・アメリカに次いでファイナルへの切符を手にした。



昨年9月、ファイナルへの出場権を獲得した男子TOP日本代表

来るファイナル、日本は「前回王者」オーストラリアをはじめ、ドミニカ共和国、アメリカと同じグループBに振り分けられ、大会初日、オープンニングゲームで「グループステージ・グループA第1代表」ドミニカ共和国と激突することになる。

並み居る「世界の強豪」が待ち受ける！



日本としては、まずこの「大事な初戦」をモノにできるかどうかが大変なカギ。相手を分析し、周到に対策を練ることももちろん必要だが、グループステージの「自らの戦い」をどう振り返り、次につなげられるか!?「課題の修正・克服」に努め、挑むことができるかが…重要なポイントになる。

チームとして一回り、いや、二回り「成長」「レベルアップ」して挑まない…上位進出は難しい。そう感じずにはいられないほど、男子ソフトボールのレベルは日々進化している。

 WBSC MEN'S SOFTBALL WORLD CUP® FINALS PRINCE ALBERT 2025	GROUP A		GROUP B				
		ARGENTINA		AUSTRALIA			
		CANADA		DOMINICAN REP			
		NEW ZEALAND		JAPAN			
		VENEZUELA		USA			
FOR THE TITLE OF WORLD CHAMPION							
OPENING ROUND							
JUL 8 - DAY 1 PRIME MINISTERS' PARK							
1 11:30		JAPAN	VS		DOMINICAN REP		
2 14:30		VENEZUELA	VS		ARGENTINA		
3 18:30		USA	VS		AUSTRALIA		
19:30 - OPENING CEREMONY							
4 20:30		NEW ZEALAND	VS		CANADA		
JUL 9 - DAY 2 PRIME MINISTERS' PARK							
5 11:30		DOMINICAN REP	VS		AUSTRALIA		
6 14:30		USA	VS		JAPAN		
7 17:30		CANADA	VS		VENEZUELA		
8 20:30		NEW ZEALAND	VS		ARGENTINA		
JUL 10 - DAY 3 PRIME MINISTERS' PARK							
9 11:30		DOMINICAN REP	VS		USA		
10 14:30		VENEZUELA	VS		NEW ZEALAND		
11 17:30		AUSTRALIA	VS		JAPAN		
12 20:30		ARGENTINA	VS		CANADA		
SUPER ROUND PLACEMENT ROUND							
JUL 11 - DAY 4 PRIME MINISTERS' PARK							
# TBD*	A4	VS	B4	# TBD*	A3	VS	B3
# TBD*	A2	VS	B2	# TBD*	A1	VS	B1
JUL 12 - DAY 5 PRIME MINISTERS' PARK							
# TBD	B4	VS	A3	# TBD	A4	VS	B3
# TBD	B2	VS	A1	# TBD	A2	VS	B1
WORLD CHAMPIONSHIP FINAL & BRONZE MEDAL GAME							
JUL 13 - DAY 6 PRIME MINISTERS' PARK							
21 11:00	4th Place Super Round	VS	3rd Place Super Round	Bronze Medal Game			
22 14:00	2nd Place Super Round	VS	1st Place Super Round	World Championship Final			
CLOSING CEREMONY							
JUL 14 - RAIN DAY (IF NEEDED) PRIME MINISTERS' PARK							



「世界」の左腕「ジャック・ベスグローム」も、初の「連覇」へ虎視眈々と闘志を秘める！

男子ソフトボール「世界最高峰の戦い」を見逃すな!!

第15回女子U18ワールドカップ ファイナル 試合スケジュール決定！



WBSC
U-18 WOMEN'S
SOFTBALL
WORLD CUP®
FINALS
OKLAHOMA CITY 2025

GROUP A		GROUP B	
	CANADA		CZECHIA
	CHINA		JAPAN
	CHINESE TAIPEI		MEXICO
	USA		PUERTO RICO

FOR THE TITLE OF WORLD CHAMPION

OPENING ROUND

VENUE II SEPT 27 - DAY 1 OGE ENERGY FIELD

1 11:00		MEXICO	VS		PUERTO RICO	2 11:00		JAPAN	VS		CZECHIA
3 15:30		CANADA	VS		CHINESE TAIPEI	4 15:30		CHINA	VS		USA

18:30 - OPENING CEREMONY - OGE ENERGY FIELD

5 20:00		CZECHIA	VS		PUERTO RICO	6 20:00		CHINESE TAIPEI	VS		USA
-----------	--	---------	----	--	-------------	-----------	--	----------------	----	--	-----

VENUE II SEPT 28 - DAY 2 OGE ENERGY FIELD

7 11:00		CANADA	VS		CHINA	8 11:00		MEXICO	VS		JAPAN
9 15:30		CHINA	VS		CHINESE TAIPEI	10 15:30		PUERTO RICO	VS		JAPAN
11 18:30		CZECHIA	VS		MEXICO	12 18:30		USA	VS		CANADA

SUPER ROUND & PLACEMENT ROUND

SEPT 29 - DAY 3 OGE ENERGY FIELD

#* TBD	A4	VS	B4	#* TBD	A3	VS	B3
#* TBD	A2	VS	B2	#* TBD	A1	VS	B1

SEPT 30 - DAY 4 OGE ENERGY FIELD

# TBD	B4	VS	A3	# TBD	A4	VS	B3
# TBD	B2	VS	A1	# TBD	A2	VS	B1

WORLD CHAMPIONSHIP FINAL & BRONZE MEDAL GAME

OCT 01 - DAY 5 OGE ENERGY FIELD

21 11:00	4th Place Super Round	VS	3rd Place Super Round	Bronze Medal Game	
22 14:00	2nd Place Super Round	VS	1st Place Super Round	World Championship Final	

OCT 02 - RAIN DAY (IF NEEDED)

All times are local times.
The Visiting team is named on the left followed by the Home team.

* Super Round & Placement Round: In games between equal seeds, a coin toss determines home team.

#SoftballWorldCupWU18

WBSC.ORG

@WBSC

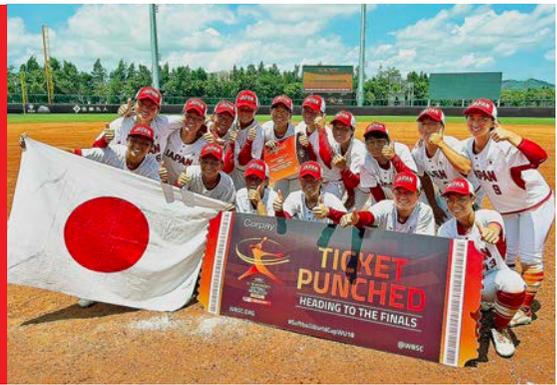


2023 第9回女子U18アジアカップ

出場選手・スタッフ
各試合レポート
大会結果詳報はこちら

2024 第15回女子U18 ワールドカップ グループステージ (グループB)

出場選手・スタッフ
各試合レポート
大会結果詳報はこちら



「女子U18」のカテゴリは、「TOPカテゴリ」同様、まず各大陸の予選(ヨーロッパ、アフリカ、北中南米、アジア、オセアニアの5大陸の予選)を戦い、それを勝ち抜いたチームが「ワールドカップグループステージ」に進出。A・B・Cの3グループに分かれて「ワールドカップファイナル」進出をかけて戦い、各グループの上位2チームが「ワールドカップファイナル」に進出を進め、「ワールドカード」2チームを加えた8チームで「世界」の座を争うことになる。

各大陸の予選は、2023年〜2024年にかけて行われ、日本の場合、「アジア予選」にあたる「第9回女子U18アジアカップ」(2023年8月29日〜9月3日、中国・平潭で開催)を「全勝」の1位で通過。「第15回女子U18ワールドカップグループステージ」に駒を進め、2024年8月14日〜18日、同じく中国・平潭で開催された「ワールドカップグループステージグループB」では、ホスト国の中国(世界ランキング11位/世界ランキングは大会開催時のもの)、日本(同2位)、プエルトリコ(同3位)、オランダ(同6位)、イタリア(同7位)、ペルー(同15位)の6チームが「第15回女子U18ワールドカップファイナル」への出場権をかけ、激突の「5インング制」での試合となり、「ス

ーパーラウンド」は実施せず、「オーバーラウンド」のみでの順位決定となったが、日本は「5戦全勝」の1位で「第15回女子U18ワールドカップファイナル」進出を決めた。

「第15回女子U18ワールドカップファイナル」は、当初開催が予定されていた日程・試合会場が変更となり、9月27日〜10月1日、アメリカ・オクラホマシティで開催。「グループA」1位・チャイニーズ・タイペイ(世界ランキング4位/2024年12月31日現在)、2位・チェコ(同8位)、「グループB」1位・日本(同2位)、2位・中国(同12位)と3位・プエルトリコ(同3位)が「ワールドカード」でファイナル進出。「グループC」1位・アメリカ(同1位)、2位・カナダ(同6位)、3位・メキシコ(同9位)が「ワールドカード」を獲得。「世界」の座を争う全8チームが出揃いこのほど、その試合スケジュールが正式に発表された(第15回女子U18ワールドカップファイナル 試合スケジュールはこちら)。

日本はプエルトリコ、チェコ、メキシコと同組の「グループB」に振り分けられ、「オーバーラウンド」2位以上で「スーパーラウンド」1位・2位のチームが「世界」の座をかけ、「チャンピオンシップファイナル」(決勝)を戦うことになる。



「開幕」に備えて！

去る3月1日（土）～3日（月）の3日間、三重県熊野市において「J.D. LEAGUE・日本女子リーグ担当審判員研修会」が開催され、今シーズン「ニトリJ.D. LEAGUE 2025」「第58回日本女子ソフトボールリーグ」を担当する「審判員50名」が参加。目前に迫ったリーグ開幕に備え、本番さながらの実戦研修に励んだ。



選ばれし、リーグ担当審判員50名が参集

今回の研修会は、毎年この時期に開催されている「熊野オープン」（※J.D. LEAGUE所属16チームの内14チームと大学4チームが参加。新シーズンの前に「オープン戦」の意味合いで毎年開催されている）に合わせて実施。三重県熊野市・山崎運動公園くま

研修会の詳細・動画は
日本協会オフィシャルサイトで！

のスタジアムをはじめとする試合会場(A・B・C・D・Eの合計5球場を使用)にそれぞれリーグ担当審判員を割り振り、実際の試合の中で球審・一塁審・二塁審・三塁審の実戦研修をローテーションで行い、夜は座学研修。来るリーグ開幕へ万全の状態で開催しよう入念に「準備」が進められたことはもちろん、個々の「さらなるスキルアップ」を図る絶好の機会となった。実戦研修では、開幕を直前に控え、このオープン戦で、最後の仕上げに入った選手・チーム同様、審判員も「本番モード」。ストライク、ボール、アウト、セーフの基本的なジャッジをはじめ、試合の中で起こるさまざまなケース・プレイに対応。試合後は各球場の担当審判長が個々の評価を行い、課題や修正すべき点を素早く、的確に指摘し、その「振り返り」が次なる実戦の場でしっかりと活かされていた。

選手・チームが来る、開幕へ日々汗と泥にまみれ、「強い覚悟」で挑むように、審判員も「最大限の準備」を行い、「誇り」「責任」を胸に臨むことになる。



いよいよ、本格的な
シーズン開幕！！

令和6年度 第10回理事会議事録



審議に先立ち、本理事会は会場集合方式とインターネット会議方式（Zoomミーティング）により、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いに行える状態となっていることを確認。理事25名中出席22名（欠席3名）、併せて出席監事3名で定款第36条に基づき本理事会は成立することが確認され、開始された。

● 審議事項

牧島会長が本理事会はリモートで出席。午後から開催される評議員会には会場での出席を予定しているため、移動の必要があり、第9号議案を先に審議することになった。

第9号議案 女子ワールドカップ招致について

岡本専務理事兼事務局長より、2026年開催予定の「第18回女子ワールドカップグループステージ」、翌2027年に開催が予定されている「第18回女子ワールドカップファイナル」の日本招致について、WBS C（世界野球ソフトボール連盟）への回答期限が

期日…令和7年2月23日（日）

10:00～11:25

開催方式…東京・品川プリンスホテル及びインターネット会議方式併用

理事現在数…25名

出席理事…22名

欠席理事…3名

出席監事…3名

議長…会長 牧島かれん

迫っていることが説明され、開催可否について審議が求められた。

まず牧島会長より、女子TOP日本代表は昨年のワールドカップを制し、現在「世界チャンピオン」であり、北京オリンピック、東京2020オリンピックに続いて、2028年のロサンゼルスオリンピックでの3大会連続の金メダル獲得が期待されている。「世界一」のチームを有する国の責任・使命として、日本にワールドカップを招致し、ホームの「地の利」を生かし、いち早くロサンゼルスオリンピックの出場権を獲得することで、オリンピック3大会連続金メダルへの機運を高めるとともに、ソフトボールをさらに盛り上げ、メディアの注目度を高め、スポンサー獲得にもつなげていけるのではないかと期待を込めて大

会招致に意欲的な姿勢を見せた。

これに対し、現在の日本協会の財政状況や2018年に千葉県下四市で開催された世界選手権(現・ワールドカップ)での大会収支の実績、現実を考えると、現状では大会の日本招致は難しいのではないかと意見も出された。大会を日本に招致することで、ソフトボールを盛り上げ、ソフトボールの未来・将来に向けた「起爆剤」となる期待、可能性が広がる一方で、現時点で具体的な準備が整っているわけではなく、期待と可能性はあっても、現実的な保証や明確な見通しが立っていないわけではないこともあり、様々な意見が出された。

その中で、山田理事から野球でのワールドカップ開催の事例、実績が紹介され、宇津木妙子副会長からJ.D.リーグにも声をかけ、開催を探ってみてはどうかとの意見が出された。

まずはJ.D.リーグに打診し、開催可能との返答があれば、再度理事会で審議を行うことで、「第9号議案」は継続審議となった。

第1号議案

選手強化本部提案事項

岡本専務理事兼事務局長から「令和7年度男子TOP日本代表チームスタ

ッフの変更」「男子強化委員の変更」

「令和7年度女子U18日本代表チーム強化事業日程変更」の3点が提案され、「男子TOP日本代表」チームのアシスタントコーチであり、男子の強化委員でもあった吉村啓氏が女子「J.D.リーグ」の監督に転身したことに伴い、男子TOP日本代表のアシスタントコーチには柳田信也氏(東京理科大学)、男子強化委員には松岡真央氏(旭化成)、女子U18については「第15回女子U18ワールドカップファイナル」の日程が9月27日～10月1日、アメリカ・オクラホマシティでの開催となったことが確認・了承され、第1号議案は原案通り承認された。

第2号議案

普及本部提案事項

磯谷常務理事から、中学生及び小学生種別で突出して登録チーム数が多い支部協会への普及活動調査を行うことと、中学部活動改革に伴う対応を協議する「アンダーカテゴリー普及部会(仮称)」を設置することが提案され、第2号議案は原案通り承認された。

第3号議案

リーグ規程(男子・女子)改定案

西常務理事から、男子リーグ及び女子リーグ規程の一部改定が提案され、極力予備節を使わず日程を消化できるように、当該節の予備節を使用してすべての試合を実施することをめざし、それでも消化できなかった場合も次節以降の予備日をできる限り活用するという文面にしたことが説明された。

併せて自然災害発生時はリーグ委員長、リーグ委員、開催地理事長、事務局で大会実施について協議判断し、不戦敗となるチームをなくすような日程としていくことが説明された。

最後に、女子リーグの表彰規程について従来はセクションごとの「優秀選手」の表彰であったが、選手のモチベーションアップを目的に「ベストナイン」を設ける等、規程を改正したことが説明され、第3号議案は原案通り承認された。

第4号議案
令和8年度以降の国スポ
監督の交代について

岡本専務理事兼事務局長から、従来国スポの監督交代は、前日の監督会議まで認めていたが、令和8年以降は前日の監督会議以降も監督のみ交代を認める場合があると変更されることが説明され、第4号議案は原案通り承認された。

第5号議案

謝金規程(個人負担金)の改定

岡本専務理事から、公式国際大会(ワールドカップ、アジアカップ、オリンピック予選等)以外の国際大会、海外強化合宿における個人負担額について、現在の倍の金額に改定することが提案された。

平成29年5月に現在の金額に改定したが、それ以前の金額に戻す提案となり、「ワールドゲームズ」の個人負担は改定後の金額となることが説明され、第5号議案が原案通り承認された。

第6号議案

第2回定時評議員会

評議員からの質問事項

岡本専務理事兼事務局長から、評議員会開催にあたり石川県・青森県・滋賀県の評議員から事前に質問事項を頂戴しており、回答は石川県と青森県については私(岡本専務理事兼事務局長)の方で回答するが、滋賀県については磯谷普及委員長から回答することを確認。文書で提出されている質問なので文書で回答することになり、回答文書を作成・回答することで、第6号議案は原案通り承認された。

第7号議案 WBC総会について

岡本専務理事兼事務局長から、2025年10月18日にタイ・バンコクでWBC第6回総会が開催され、役員改選が行われることもあり、次期理事に誰を推薦するのか、誰がその会議に出席するか、国際委員会でも慎重に議論していただき、再度理事会に提案することが説明され、第7号議案については**継続審議**となった。

第8号議案

指導者委員会委員の変更について

瀬戸山常務理事から、九州プロテック指導者委員長として日本協会指導者委員を務めていた沖縄県の稲福理事長から委員交代の申し入れがあり、九州協会常務理事会で検討した結果、長崎商業高等学校の監督であり、長崎県の指導者委員長である溝口弘一郎氏に変更したいとの提案がなされ、第8号議は提案通り**承認**された。

●報告事項

1. 各委員会・プロジェクト報告

(1) 審判ルール委員会

神谷常務理事から、令和7年2月8日・9日に開催された「第3回審判ルール委員会」について、議事録を基に詳細が報告された。

(2) 記録委員会

西常務理事から、昨年11月30日・12月1日に行われた「第2回記録委員会」並びに令和7年2月8日・9日に開催された「第3回記録委員会」について議事録を基に詳細が報告された。

(3) リーグ委員会

西常務理事から、令和7年1月29日にWeb開催されたリーグ委員会について、議事録を基に詳細が報告された。

2. 能登半島地震復興支援募金報告

西常務理事から、能登半島地震復興支援募金状況について報告された。

今年度の全国高校選抜、都道府県対抗全日本中学生、春季全日本小学生、男女6大会がまだ残っており、全大会終了後の4月に会長もしくは専務理事に同席いただき、贈呈式を行いたいと考えていることが報告された。

3. 日米対抗ソフトボール2025 計画中止について

岡本専務理事から、本年8月に愛媛

県と福岡県北九州市で計3試合の開催を計画していたが、アメリカチームがワールドゲームズに参加することもあり、来日できなくなり、令和7年度の日米対抗は中止となったことが報告された。開催予定であった愛媛県と福岡県には主催者であるJSAと読売新聞社で訪問のうえ謝罪予定であることも併せて報告された。

4. 職員採用について

岡本専務理事兼事務局長から、金澤正之氏、今井優花氏を4月から職員として採用することが報告された。

・その他

(1) 総合選手権男女について

杉本理事から天皇盃、皇后盃について、ぜひNHKで放送してもらえよう働きかけてほしい。NHK総合は無理でも教育テレビで放送していただけたら普及にもつながるのでないか。

また、大会のグレード、格式が上がるような開催方法を検討してほしいとの要望が出された。このことについて、岡本専務理事より、総合選手権大会改革プロジェクトでも検討されており、チーム数を減らしてもグレードの高い大会として、スタジアム、有料

化などの検討を進めているところであり、NHKへの働きかけなども行っていくことが説明された。

(2) 男子U23アジアカップについて

木田理事よりJSAからの派遣が中止になった同大会の派遣について、その後、大学連で派遣できないかという相談をいただき、2月末までに回答することにしている。大学連の理事会で経緯を説明する時点で厳しい意見を頂戴しているが、今後のソフトボール界を担う若い選手たちにチャンスを与えたいとの思いで動いており、派遣を実現するには試算したところ約800万円必要、大学連の財政だけでは実現不可能のため、個人負担金約30万円に加え、大学連から約300万の派遣費用を見込まないといけない状況。現状としては約200万円の協賛が集まれば緊急理事会を招集して賛否を問い、ようやく可決できるか否かという段階であることが報告された。

ただし、今回アジアカップでワールドカップの出場権を獲得した場合、来年のワールドカップに大学連から再び派遣することは不可能なので、ワールドカップについてはJSAから派遣していただきたいとの要望が出された。

令和6年度 第2回定時評議員会議事録



評議員会開催に先立ち、昨年11月に「秋の叙勲」を受章された三宅豊名誉会長、宇津木妙子副会長、伊東秀仁副会長の3名に対し、当協会慶弔規程に基づき、お祝い金の贈呈が行われ、各受章者より謝辞が述べられた。



評議員会に先立ち、「秋の叙勲」を受章された三宅名誉会長、宇津木妙子、伊東秀仁両副会長を祝福

併せて、昨年7月にイタリアで開催されたWBS-C(世界野球ソフトボール連盟)「第17回女子ワールドカップフアイナル」で優勝した「女子TOP日本代表」チーム・宇津木麗華ヘッドコーチ(本協会副会長)より優勝報告とチームへの支援・協力に対し、謝意が表され、LA28へ向けた決意と意欲が示され、さらなる支援・協力が求められた。

期日…令和7年2月23日(日)

13:00~14:40

開催方式…東京・品川プリンスホテル及びインターネット会議

方式併用

評議員現在数…54名

出席評議員…50名

欠席評議員…4名

理事現在数…25名

出席理事…19名

欠席理事…6名

出席監事…3名

審議に先立ち、本評議員会は会場集合方式とインターネット会議方式(Zoomミーティング)により、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認。評議員54名中出席50名(欠席4名)、定款第6章23条に基づき本評議員会は成立することが確認され、定時評議員会が開始された。

● 審議事項

第1号議案

議長への選出について

牧島会長より、定款第22条3項に基づき、出席評議員の中から議長を選出

する旨の説明があり、鹿児島県・久保山正志評議員から高知県・池澤良介評議員を推薦する提案があり、賛成多数で承認。池澤評議員が今回の評議員会における議長を務めることとなった。

第2号議案
議事録署名人の選出について

議長より、議事録署名人の選出について、栃木県・阿久津静評議員、福井県・吉田泰穂評議員を任命する提案があり、賛成多数で承認された。

第3号議案
令和7年度事業計画（案）について

瀬戸山総務委員長より、資料に基づき、「令和7年度事業計画書」の内容及び事業計画案について次のように説明された。

主な事業として、国内普及事業では小学校低学年および幼児における未経験者への普及振興事業、幼児期からのベースボール型体験プログラム普及振興事業（ASOBAL）、また学校体育ベースボール型授業研修会における普及振興事業の継続を図り、引き続き日本リーグ・JD、リーグ加盟チームおよび日本トップリーグ連携機構によ

るソフトボールクリニック、ボールゲームフェスタに参加。普及本部を中心に次年度以降の普及事業の検討を行う。国際大会派遣として男子ワールドカップファイナル（カナダ）、女子U18ワールドカップファイナル（アメリカ）、女子U15ワールドカップ（イタリア）等に派遣する。

研修会開催については、隔年開催となっている中央研修会について、令和7年度は指導者中央研修会を実施せず、審判員・記録員中央研修会を実施。昨年より実施している未来発掘育成事業（MIRAI）についても引き続き実施していくことが説明された。

全日本大会については、クラブ男子選手権の開催時期がワールドカップの影響で9月にずれているが他は例年通り。会場の都合で4日間開催が増えている。

最後に西常務理事・リーグ委員長から日本リーグ男女日程案、およびJD、リーグ日程案について説明され、岡本専務理事兼事務局長より女子U18ワールドカップファイナルの開催地がアメリカ・オクラホマシティに、大会開催期間が令和7年9月27日～10月1日に変更となったとの補足説明があり、審議が行われた。

第3号議案に関連し、皇后盃全日本総合女子選手権参加申込み期限が開催

地の都合で8月4日に変更となったことを確認した上で、審議の結果、第3号議案は賛成多数で原案通り承認された。

第4号議案
令和7年度収支予算（案）について

石井財務委員長より資料に基づき、令和7年度収支予算案について説明された。

令和7年度に実施する事業の主なポイントと予算概要について説明され、全体で経常収益が5億9千284万8900円、経常費用が6億4千153万4600円、当期経常増減額は4千868万5700円のマイナスとなり、決算において黒字化するために収入の更なる増加を図り、すべての事業においても一段の節約が必要であることが説明された。

公益目的事業における収益での主な特筆事項としては、受取登録料が登録数の減少により約388万円の減、事業収益における登録減に関連する審判記録認定料、出版事業、物品販売収益で約894万円の減となる。

公益目的事業における費用での主な特筆事項としては、旅費交通費については価格高騰の実績は反映しながらも、

節約やリモートの活用を見越し一律10%減、また旅費規程の改定により車賃の適用に制限を設けたことから、941万円の増としているが、令和6年度と同様の経緯を辿ると、この予算では取まらないことが想定されるため、当協会事業に関係するすべての役員、委員、競技役員が節約を心掛けることが必要となる。

選手強化事業については、国際大会数の増により4千740万円の増、海外強化合宿の実施で3千41万円の増、国内強化合宿では事業数は減らしたが価格高騰により238万円増となる。

収益事業等会計における収益の特筆事項は、令和6年度に機関誌をオンライン発行としたことによる個人購読料の減。令和6年度に検定・推奨公認料の算出方法を大幅に見直したことに伴う減収で928万円の減となった。

法人会計における費用の特筆事項は、国際関係で航空運賃の高騰により504万円の増。法人専門委員会旅費交通費、その他旅費交通費についても令和6年度の価格高騰の実績は反映しながらも、節約やリモートの活用を見越し一律10%減で約150万円増の予算としている。公益旅費交通費と同様、これまで通りの運用ではこの予算では取まらないことが想定されるため、すべての役員、委員が節約の努力をする



日本協会の財務状況について、評議員から厳しい指摘と現状を憂う声が出る場面も……

ことが必要であることが重ねて強調された。

4千868万円の赤字となる根拠は、(1)12月時点では個人登録料の生涯種別重複免除の解除を見込んでいた。(2)ワールドゲームズ(男子TOP、女子TOP)がJOC(公益財団法人日本オリンピック委員会)選手強化委託金の対象外となり、協会負担となった。

一般正味財産期末残高は、2億1千893万8775円で、指定正味財産3億円を加えた期末残高は5億1千893万8775円となることが説明され、質疑応答が行われた。

〔石川県・河上評議員の質問骨子〕

旅費交通費が大幅に増えているが、その中でJ.D.リーグ派遣費が844万円増と大きく増えており、一律10%削減が必要という中でなぜ増えたのか説明いただきたい。

《石井常務理事・財務委員長の答弁》

昨年度は競技種別への常務理事派遣を行ったが、令和7年度は生涯種別の一部も行う予定のため、旅費交通費が若干増えている。

《岡本専務理事兼事務局長の答弁》

物価高騰による実費金額を見込んでいる。旅費規程改正により100km以上の移動については車の利用に制限を設ける等、支出減に努めている。

〔石川県・河上評議員の質問骨子〕

生涯種別は地元理事が対応と記載があるが、常務理事派遣が復活するということか。

《瀬戸山常務理事・総務委員長の答弁》

昨年はリーグ男女開幕節及び交流節、選手権種別及び小中高大に派遣する形としていたが「生涯種別も日本協会から役員派遣を行ってほしい」との全国の声を頂戴していることから、昨年実績に加えて今年は教員、一般男子、レディース、壮年の4大会に派遣を予定している。

《岡本専務理事兼事務局長の答弁》

補足説明として、昨年のJ.D.リーグ前半は派遣を行っておらず、後半から行う形となったが、来年度は最初から派遣を行う予定としている。

〔岡山県・金田評議員の質問骨子〕

財務委員長に質問ですが、公益事業と収益事業、法人会計のそれぞれの予算でどれくらい赤字になるのか、赤字になるのか、具体的に説明していただきたい。

《石井常務理事・財務委員長の答弁》

前述の資料記載の通り、公益事業は約657万円の黒字、収益事業は約2千110万円の黒字、法人会計が約7千636万円の赤字を見込んでいる。

〔岡山県・金田評議員の質問骨子〕

公益事業について受取補助金の金額

が記載されているが、昨年は見込んでいた額より大幅に不足していた。財務委員長から節約という言葉が出てくるが、本当にこれで赤字決算にならないのか。6月の評議員会でも質問をさせていただいたが、過去5年間赤字になっていた、赤字だったのはコロナで事業をほとんど行っていない年だけ。ここ3年赤字決算となっている。特定資産もゼロとなっており、内部留保等を使っているのかとしてきたのですが、令和7年度これらの事業を行って、もし赤字になった場合はどこから補填するつもりなのか見直しをお聞かせいただきたい。

《石井常務理事・財務委員長の答弁》

受取補助金はあくまで見込みで数字を入れていく。ご指摘にあった通り、予定通り入って来ない可能性もあるが次年度の事業等を勘案して計算し、作成したものである。赤字については今までの留保分を取り崩していくしかない、以前は3億近くあったが現在は2億程度、どんどん目減りしている状況で、運転資金に支障をきたす可能性すら出てきている。生涯種別重複登録免除の解除も赤字解消へ向けた助けになるので実施したかったが……もう1年先延ばしの結論に至り、このような状況となっていることをご理解願いたい。

（岡山県・金田評議員の質問骨子）

この収支予算案は理事会の審議・承

認を経て提出されたものと理解しているが、昨年・一昨年含め、理事会の現状認識、現状への危機感を理事会が持たれ、予算審議しているのか疑問を持たざるを得ない。これでは日本協会は危ないんじゃないか……というような意見は出ていないのか。赤字予算が当然と評議員会に提出されているという状況に、組織として理事会が本当に機能しているのかと感じてしまう。会長は現状をどのようにお考えか。



執行部からは協会運営へのさらなる理解、協力・支援が呼びかけられた

《牧島会長の答弁》

理事会の前に常務理事会が開催され、各部門の責任者として財政の在り方を各委員会で議論し、ここに計上されている。この事業が年間事業として必要な事業である、と説明を受けたと認識している。不必要な事業は計上するとは出来ないことから、やらなければならぬ事業として各委員会で精査した上で常務理事会、理事会で議論されたものであると私自身としては認識し、受け止めている。詳細は専務理事兼事務局長から説明する方が妥当なのではないか。

《岡本専務理事兼事務局長の答弁》

事務局長兼務となり12月・1月と毎週のように事務局に行っておりますが、その中で決算見込みを出しながら財政状況を注視している。令和6年度が赤字にならないようしっかりと務めていきたいと考えており、ご理解のほど、よろしく願いたい。令和7年度は赤字予算となるが何とか赤字幅を縮小できるよう精一杯努めていきたい。財務委員長からも話があったが、女子TOP日本代表の合宿についても是非ともスポンサーを獲得し、実施させたいと思っている。会長をはじめ副会長にもスポンサー獲得活動に動いてもらっており、厳しい財政状況ではあるものの、財政の健全化へ向け、努力してい

きたいと考えている。評議員の皆さまの周りでもご協力いただけるスポンサー様がいらっしゃいましたら、ご紹介いただけますようお願いする。

（岡山県・金田評議員の質問骨子）

強化合宿について、女子TOP日本代表の話はあったが、男子TOP日本代表が今年ワールドカップファイナルに出場予定でありながら、強化合宿の実施なし、関連予算ゼロになっている。岡本専務理事兼事務局長は男子TOP日本代表として現役時代活躍された経歴を持ち、監督としてチームを率いた経験もある。ワールドカップでは食事面を含めかなり厳しい状況とお聞きしているが、合宿ゼロで選手・チームから文句は出ないのか。

《岡本専務理事兼事務局長の答弁》

個別の強化合宿は予定されていないが、ワールドカップ開催前、早めにながタに入り、練習試合等の実施は予定している。それぐらいの予算しかない……と男子TOP日本代表・江口ヘッドコーチには説明している。

（岡山県・金田評議員の質問骨子）

スポンサー収入を見込みで収入予算を立てているとのことだが、過去にも見込みで国際大会を招致し、事業スタートして蓋を開けてみたら見込んだほどの収入がなかった……ということもあった。このまま赤字が続くようだと

日本協会は破綻する可能性が十分ある。そのあたりは日本協会あつての理事会及び我々評議員です。危機感を共有しながら考えていっていただけたらと思います。いかがでしょうか。

《石井常務理事・財務委員長の答弁》

ご指摘の通りで、運転資金が足りなくなってきたり、緊縮財政で臨んでいかななくてはならない。一方、ロサンゼルスオリンピックもあり、やるべきことはやっていかななくてはならない。

《岡山県・金田評議員の質問骨子》

3年後のオリンピックも大切だが、今後3年間ずっと赤字を流し続けている。たの組織の存亡に関わってくる。

また、女子TOP日本代表だけではなく、公益財団法人の在り方として、全国の小学生から社会人まで、大好きなソフトボールをやっている人たちのための組織でなければならぬ。各県の代表が会議に出席しているこの評議員会で健全な日本協会の在り方を真剣に討議し、進めていくことをお願いしたい。オリンピックだから赤字は我慢して……というのとは違うと思う。しっかりと説明をお願いしたい。

《石井常務理事・財務委員長の答弁》

協賛金を募り、できるだけ黒字にしたいと考えている。極力赤字幅を削減・減少させ、財政の健全化・黒字化へ向かいたい。

《岡山県・金田評議員の質問骨子》

さらに言及させていただけば、先日、農林中金の理事長が赤字を出されて辞任された。来年も再来年も赤字になるようであれば辞任して責任を取る、そのぐらいの覚悟で取り組んでいただきたい。財務委員長個人を責めているのではなく、理事会全体・全員でそれぐらいの危機感・責任感を持つ時期にきているのではと申し上げたい。

《牧島会長の答弁》

財務委員長にすべて責任があるわけではなく、仰っていたとき、その通りだと感じている。日本協会全体として財政黒字にする、つまり皆さまにも協力いただいて収入を増やしていかないとバランスが取れないという中で色々な議論をしてきたと受け止めている。皆さま各県協会の中の財政状況もあり、日本全体で人口が減っている、プレイヤーが減っており、更には他のスポーツとの競争激化によってソフトボールプレイヤーを獲得するのが難しい、子どもの数自体も少ない、そうした財政上の制約があるというのを受け止めて今回提出させていただいている。黒字化の目標は執行部だけではなく各県の皆さまにもご協力やお知恵をいただく。またスポンサーを探すということも「オールJSA体制」、日本協会の総力を挙げてやらないと赤字解消は難

しい。執行部だけでスポンサーを見けるのではなく、各県からもお知恵・ご助力をいただきたいというのが私どもの願いです。なお、スポンサーを獲得する可能性があるのは女子TOP日本代表というチームが存在しているからだ、ということも私たちの戦略として位置付けており、女子TOP日本代表が成績を残すことが難しくなればスポンサーも集まらない、更に赤字が続く可能性があるという相関関係にあるとの理解で、ひとつの投資をどこにしていくなか含めて受け止め、考えていただきたい。

《岡本専務理事兼事務局長の答弁》

嬉しいことですが、令和7年度はワールドゲームズで男子も開催・実施されることと決定したが、財務委員長の説明の通り、この大会の参加・出場にかかる経費はすべてJSAの自己財源となる。また、重複登録料免除の解除をしたことにより令和7年度は赤字予算となり、令和8年度については戦々恐々の状態ではあるものの、予算対策をしていきたいと考えている。

《千葉県・井之上評議員の質問骨子》

2018年に千葉県で世界選手権(現・ワールドカップ)を開催した際、日本協会の赤字額は2千万円である。会長から現在の状況について説明いただいたが、2年前の話の思い出して

いただきたい。かなりきつい値上げを行い、10年間は大丈夫ですとのことだった。その後の経過は今回の資料ではわからない。全日本大会委託金についてはすべて2015年以前の水準に戻すとの記載があるが、審判記録講習会委託金について一人2万円を1万6000円に、各県4万円を3万2000円にそれぞれ2割カットしている。その分どうしたかと言うと関東協会に負担することとなった。支部協会の負担を増やしておきながら日本協会は値上げを実行した。その際に使い道を考え、各支部に戻して欲しいとお願いしたが、実際には還付金はなし。昨年この件はお伝えしたが、何で戻らないかの回答もない。是非検討いただきたい。

《石井常務理事・財務委員長の答弁》

検討していないわけではないが、今年これだけの赤字が出ている状況であり、暫く猶予をいただければと思う。

《千葉県・井之上評議員の質問骨子》

日本協会の値上げに便乗して県登録も値上げすることはできないので、結果的にこの2年間は、千葉県は毎年40万程の赤字となっている。大会を運営する支部協会への委託金はいつ戻すのか、今しかないのではないかと。厳しいのは理解しているが支部協会に負担を強いていて還付金もなし、質問しても回答もいただけない。計算すると14

0万円になるが、評議員の一人として修正案を出して良いか。

《石井常務理事・財務委員長の答弁》

私としてはこれ以上の赤字は出したくないので、令和7年度分については本案でお願いしたい。

《岡本専務理事兼事務局長の答弁》

私も支部の人間の一人ですので井之上評議員のおっしゃっていることは非常によく分かる。実は私の所属する高知県も毎年赤字で、本日は議長として同県の池澤評議員が横にいろいろいつも責められている。専務理事をやらせてもらっているので日本協会が何とかつづれないようにと思つてやっているが、減少が激しく、当初1億5千万上げたのと要望したが折衷案で1億になった。厳しいところが今出てきているので、自分たちが今できるのは登録料を増やすこと、中学校の問題もあるが何とか増やして支部に還元することを常に思つておりますので、ご理解のほど宜しくお願いしたい。

《千葉県・井之上評議員の質問骨子》

会長の仰つていた「情報共有」と「説明責任」の2つはもう少し丁寧にお願ひしたい。

《大阪府・南口評議員の質問骨子》

受取登録料備考に記載の公益と法人の配分率はどこから出てきているのか。また大阪府では各種登録が始まってい

るがチーム登録、選手登録、審判記録の減少が顕著となっている。日本協会にお願いしたいのは減少を止める対策を講じていただきたい。大阪府でも検討しているが、団塊の世代が70歳を超えてシニア、ハイシニアを卒業して選手を辞める、審判員を辞めることが一番大きな問題と認識している。予算案では2%減で計算されているが本当にそれで大丈夫か？

《兵庫県・亀田評議員の質問骨子》

2週間ほど前に日本スポーツ協会、各スポーツ協会との間で中学校部活動地域移行に関する会議が行われ、日本スポーツ協会から提示された資料では中学生女子が7年前と比較し、47%部員が減つている。これだけ減つているのは女子レスリング、相撲等の個人競技に関わる場所の減り方が40数%、大きい競技団体、9名以上で試合を行う競技の減少率では女子ソフトボールがナンバーワンという提示があった。

本県でも10年前は160校の登録があったが昨年は60校に減少、約100校が消えている現状にある。小学生以下のASOBALL、この辺のところは良いことを実施いただいていると思つているが、中学校に関して登録減少を防ぐ手立てはあるのか。地域移行に関して神戸市の中学校女子ソフトボール部15チームの先生方に集まっていた

き、話をお聞きしたところ、地域移行されても指導を続ける、または続ける意志を持つている指導者は15名中1名だけであった。残り14名は審判登録も指導者登録も今後は資格更新しないとのことであった。そうなると本県だけでなく、全国的にもかなりの減少が見込まれるのではないかと。そういう現状に対し、日本協会は何か対策を考えているのか？と疑問に思つている。地域移行で中学校の部活動がなくなることで支部登録料も減少し、さらなる赤字が現実味を帯びてくる。先ほどの大阪府協会のご質問と併せ、具体的な答弁をお願いしたい。

《岡本専務理事兼事務局長の答弁》

2%減というのは現実的には少ない数字と見ている。むしろ何とかここで止めないといふ「努力目標」に近い数字の設定である。そうでないと予算が組めない状況なので評議員の皆さまにも周知・ご理解いただき、減少率を下げましょうというお願いをした。私も小学校からソフトボールをやつており、大好きなソフトボールがこんなに減少するのは寂しい限り。ソフトボールはやり甲斐もあるし楽しいといふことを自分たちがもつと伝えていかなければならないと感じている。子どもたちになかなか伝わっていない気がしている。ソフトボールの楽しさを

伝えながらソフトボール人口を増やしていきたいと考えている。中学校についても危機的状況にあり、中体連・坂野評議員と一緒にやって普及委員長を交え、協議しながら対策を実行・実践していくので何卒ご協力のほどお願いしたい。評議員会が終つた後、来年度に9ブロックの皆さまのところを回つて色々な話をさせていただきたいとも考えている。どうすれば競技人口を増やせるか、そういった色々な議題で皆さまとごつくばらんに話し合いをさせていただきたいと考えているのでご協力をお願いする次第である。

《磯谷常務理事・普及委員長の答弁》

中学校に関するご質問、この件につきましては評議員さんから事前に質問を頂戴しており、後ほど説明する予定でしたが、ここで触れさせていただきます。日本中体連ソフトボール担当の部長から令和9年度で全中男子大会がなく、女子も20チームに削減される。男子の大会をどうしたら良いか、地域移行に関してアンダーカテゴリー普及部会を設置していただけないかというご要望を頂戴し、本日前中の理事会で普及本部からアンダーカテゴリー部会を設置し、部活動地域移行を中心に中学生の対策をどうしていったら良いかについて中体連の先生方あるいは日本協会の関係する役員でどう対応

するかを協議し、47都道府県の皆さま方にもお示しし、また47都道府県の皆さまからもご意見いただいて良い形にしていきたいと考えており、結果が出たらすぐに皆さまにもご報告させていただきます。

《宇津木妙子副会長の答弁》

普及に関してASOBALLを全国展開でやっていることはご存知かと思うが、日本協会に対し、やって欲しいと要望が来ている県と、ほとんど知らない県もまだ多い。幼児向けに関しては普及本部の方で行うが、中学校については各県に実業団・クラブチームがあるので選手たちにお願いで学校訪問を行い、ベースボール型授業やキャッチボールを体育の授業でやってもらう等行政ともタイアップするのほひとつのやり方ではないかと思う。私の居住している高崎市もチーム数が増えているわけではないが、一例として福井県にASOBALLの指導で行ったときに福井県の女性理事数名と幼稚園・保育園を訪問し、何名かは上手にボールを投げたり打ったりする子どもがいて、その子たちをチェックして小学生に進んだタ イミングでクラブチームにスカウトすることでチームが増えた、という実例もある。地道な仕事になるが全国にいる日本代表やリーグチームのOGや大学生を活用してASOBALLをやった

り、県協会及び行政とタイアップしながら小学校、中学校の体育の授業でボール投げをやるとか、こちらから積極的に働きかけ、動いてほしいと思う。ASOBALLについては日本協会に連絡して講師の日程調整を行い、派遣してもらうようにお願いしてはどうか。

《石井常務理事・財務委員長の答弁》

最後に配分率についてですが昨年度は公益が90%、法人が10%でした。今年度は公益94%、法人6%ですが、その配分についての決まりはありません。

《大阪府・南口評議員の質問(骨子)》

お聞きしたいのは公益の2億7千402万2220円はどこから計算したのか、全体の2億7千330万9000円に対し、公益94%は2億5千691万4600円、法人6%は1千639万85400円の間違いではないか。大阪府の収入源はチーム登録料、個人登録料、審判及び記録の更新料となるが、そこが減っていくと支部はやっていけない。私が言いたいのは、来年度予算説明のなかで支部協会が一番重要視する登録料について2%減しか見込んでいないことをちゃんと説明していただきたい。それだけである。

《大学連・長澤評議員の質問(骨子)》

大学連の立場からお願いと評議員の皆さんに知っていただきたい発言させていたいただきたい。先ほど説明のあった

男子U23アジアカップ派遣を大学連で受けられるかについて検討を行っているところだが、大学連の独自の資金では費用を賄うことはできず、協賛金を募ったりして工夫しながら、多くの方に関わっていただき、理事会で何とか承認を受けられるまでの協賛金が集まりつつある。評議員のなかにも個人的にご協力いただいた方がいらっしゃることを皆さんにも知っていただきたい。大学連から男子U23アジアカップに派遣して良い成績を残し、男子U23ワールドカップに出場することができた場合、次は日本協会の費用で派遣していただきたい。大学連も潤沢な資金があるわけではなく、大学生にも個人負担30万円ほどしてもらうことになりそうなので、ワールドカップの派遣も大学連で……とならないようお願いしていただきたい。

《岡本専務理事兼事務局長の答弁》

本日の理事会でこの話が出まして、理事会では承認されております。予算の都合もありますので、それにつきましては次期予算のときに精査していく予定である。

《岡山県・金田評議員の質問(骨子)》

J.D. リーグ運営負担金が1千万円減額との記載について説明をお願いしたい。

《岡本専務理事兼事務局長の答弁》

J.D. リーグからスポンサー撤退等で次年度も厳しいとのこと、本年度に引き続き減額することになった。これらの質疑応答を経て、審議の結果、第4号議案について賛否を諮り、賛成多数で原案通り承認された。

・その他

〔千葉県・井之上評議員の質問(骨子)〕

昨年千葉県の大会で自打球を受け、骨折した事案があり、フェイスガード付きヘルメットの購入を検討しているが、色が赤、白、紺、黒、青の5色のみでチームカラーの緑はなく、チームカラーに合わせるためには「特注」で高額なものとなる。同色でなくてもよいか。

《神谷常務理事・審判ルール委員長の答弁》

合同チームでは認められているが単独チームは現時点では同色となっている。ルール委員会を開催し、総務委員会とも協議の上、早急に回答する。

最後に岡本専務理事兼事務局長より、新意匠ゴムボール発表記者会見がこの評議員会終了後、予定されているので、評議員から事前に頂戴している質問事項については別途書面で回答させていただきます。この説明があり、閉会した。

新意匠ゴムソフトボール発表記者会見



去る2月23日(日)、(公財)日本ソフトボール協会は、東京・品川プリンスホテルを会場に、「令和6年度第2回定時評議員会」終了後、「新意匠ゴムソフトボール」記者会見を開催した。

この記者会見は、日本ソフトボール協会創立(1949年)以来、変わることなく公式球(大会使用球)としてきた「ゴム」ソフトボールについて、新しい意匠のボールを開発し、使用することになったことを受け、行われたもので、(公財)日本ソフトボール協会からは牧島かれん会長、岡本友章専務理事兼事務局長、亀田正隆技術委員長が出席。「新意匠ゴムソフトボール」の開発を行った「検定ゴムソフトボール工業会」から土井正孝会長(内外ゴム株式会社代表取締役社長)、橋本茂樹副会長(ナガセケンコー株式会社取締役副社長)、岩城宏之副会長(マルエス株式会社代表取締役社長)が出席し、「新意匠ゴムソフトボール」の開発・導入の狙い、その特徴や従前の公式球との違い等の詳細が説明された。

(公財)日本ソフトボール協会・亀田正隆技術委員長は、「この新意匠ゴムソフトボールは、ゴムボールから革ボールへの移行を意識し、従来のゴムボールより、革ボールの縫い目に近づけ、より革ボールに近い形状、感触のボールの開

発に取り組んだ」と話し、「縫い目(ゴムボールなので実際には縫い目はない)を高くすることで、グリップ力が高まり、ボールの握り替え、握り直しが容易となり、指のかりがよくなり、スピンのかけやすくなることを意識した」と「新意匠ゴムソフトボール」の開発・導入の狙い、特徴を説明した。

この「新意匠ゴムソフトボール」の開発に携わった「検定ゴムソフトボール工業会」土井正孝会長は、「革ボールの使用に完全に合わせてしまうと、ボールの成形・製造過程で不具合が生じやすく、金型の開発に苦労しました。縫い目の高さを従前の0.5mmから0.9mmに調整することで、革ボールに近い形状・感触を実現することができました」と開発の苦労話を披露し、日本の高い製造技術があればこそ実現できたものであることが説明された。

「新意匠ゴムソフトボール」は、従前のゴムボールと大きさ、重さに変わりはなく、縫い目の高さを0.5mmから0.9mmに変更。従前の「1号ボール」「2号ボール」「3号ボール」の名称から、現行の「2号ボール」を「11インチ」「3号ボール」を「12インチ」と実際のボールの大きさを呼称・表記することも発表された(現在、(公財)日本ソ

フトボール協会で「1号ボール」を大会使用球とする大会は実施していない)。記者会見では、目黒日本大学高等学校女子ソフトボール部の皆さん(恵島禾梨さん、繁竹心咲さん、曲田美咲姫さん、熊谷夏望さんの4名)による「新意匠ゴムソフトボール」を使ったデモンストラレーションも行われた。

「新意匠ゴムソフトボール」を使ってキャッチボールを行った目黒日本大学高等学校女子ソフトボール部の皆さんは「握りやすい」「ボールのかり(指のかり)がいい」「捕球してから握り直すのが楽」「縫い目が高いのでピッチャーは変化球が投げやすいのでは」等、「新意匠ゴムソフトボール」使用の感想を語ってくれた。

また、これまでメーカーによって若干の使用感の違いがあったが、今回の「新意匠ゴムソフトボール」では、メーカー各社が共同で金型を開発し、完全な「統一規格」での製造が実現し、どのメーカーのボールを使用しても「まったく同じ」となることも説明された。この「新意匠ゴムソフトボール」は今年秋ごろから販売を開始(詳細な販売時期はメーカー各社のホームページ等で発表予定)、令和8年度(2026年度)の大会から公式球(大会使用球)として使用される予定である。





2025 各カテゴリー 日本代表強化事業
女子TOP 女子U18 女子U15 男子 TOP



2025 国際大会 大会日程はこちら



WBC
MEN'S
SOFTBALL
WORLD CUP
GROUP C
OKLAHOMA CITY 2024

FOR THE TITLE OF
WORLD CHAMPION

今シーズンは男子 TOP、女子 U18、女子 U15
3つのカテゴリーで「ワールドカップ ファイナル」
が開催される



2025 全日本大会参加割当表



2025 全日本大会・日本リーグ
大会使用球割当表

事務局だより

未来へ、羽ばたけ 鹿児島県の小学生男女 148チームが熱戦展開！

去る2月23日、3月2日、3月9日（女子は3月1日、3月16日）、第51回を数える「鹿児島県ちびっこソフトボール大会」が開催され、鹿児島県内の小学生男女「148チーム」が熱戦を繰り広げた。



↑ 第51回大会のプログラム（表紙）

「鹿児島県ちびっこソフトボール大会」は県内最大規模の大会として知られており、選手たちにとっても県内各地域のライバルを相手に日頃の練習の成果を発揮できる「絶好の機会」となっている。

今回も開催に先立って主催の南日本新聞社が大会の組み合わせ・出場チームの紹介を行い、開幕を大々的にPR！大会期間中も新聞の紙面を通じて熱戦の様様（選手たちの頑張り）を報道した。

今回も南日本新聞社が開幕を大々的にPR↓

球春の便り 続々!!!